

2018年6月21日

ScandiNova Systems AB

スカンジノバ・システムズ株式会社

## スカンジノバ・システムズ株式会社の設立式典を執り行いました

2018年6月14日/東京

国内の主要研究機関、大学、産業界より約60名の代表者の方々をスウェーデン大使館に迎え、スカンジノバ・システムズ株式会社の日本市場への取り組み体制を発表。



スカンジノバ・システムズ株式会社と ScandiNova Systems AB(スカンジノバ・システムズ社/スウェーデン)は、スウェーデン大使館 商務部・投資部の協力を得て、日本法人 スカンジノバ・システムズ株式会社の設立式典を2018年6月14日14時より執り行い、国内の主要研究機関、大学そして産業界の代表の方々より多くの関心が寄せられました。

設立式典では、日本のスカンジノバ・システムズ株式会社に関するプレゼンテーション、本社スカンジノバ社の歴史、現在の状況から将来の見通し、そしてサービス体制などの考えが紹介されました。地理的に離れている、北欧の国スウェーデンの紹介などの情報の共有もされ非常に有意義なものとなりました。

また、スウェーデン大使館のセシリア レイラム商務参事官様より、本年が日本とスウェーデンの外交樹立150周年の記念の年である紹介とともに、この記念すべき年にスカンジノバ・システムズが設立されたことの慶びの言葉を拝承しました。

大強度陽子加速器施設の齊藤センター長様より、加速器運転に関する重要なキーファクターであるモジュレータ電源に関しまして、お客様の視点に立った期待のお言葉もいただきました。

スカンジノバ・システムズ株式会社 代表取締役社長 ミカエル・リンドホルム のコメント

「日本法人の設立式典に、皆様方からこれだけ大きな関心を頂きましたことは非常に光栄に思います。これはスカンジノバにとりまして、次のステップへの重要な第一歩でありますとともに、今後当社のパルス電源システムにて皆様方とともに、より良いものをご提供していけることを心より望んでいます。」

## スカンジノバ・システムズ株式会社 CEO 湯城 磨 のコメント

「全国各地からご出席いただいた研究機関、大学そして企業の皆様方に深く感謝申し上げます。これから私たちスカンジノバ・システムズ株式会社は、日本の科学技術・医療・産業/民生展開のために、皆様方とともに最善を尽くす所存でございます。皆様方との協力関係は重要であり、そこからより良い製品づくりを目指して参ります。忌憚のないご意見・ご鞭撻をお待ちしております。」

そのほか、スカンジノバの小型電源 (M-100i)の展示や様々なポスターで当社技術紹介も行い、スカンジノバ社の製品に対する期待の声が多く寄せられました。



## お問い合わせ先

[日本]  
スカンジノバ・システムズ株式会社  
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 10 番 3-901  
CEO 湯城 磨  
電話: 03-5545-5313  
osamu.yushiro@scandinovasystems.com

[スウェーデン]  
ScandiNova Systems AB 渉外担当責任者  
Erik Sundström (エリック サンドストローム)  
電話: +46 70 395 33 95  
erik.sundstrom@scandinovasystems.com

## ScandiNova Systems AB に関しまして

ScandiNova System AB は、独自開発したパルス技術により、大出力のパルス電源の開発/生産において世界をリードする屈指のメーカーに成長しました。私たちの製品ラインナップには、半導体スイッチを搭載したパルス変調器、パルス発生器、そしてターンキーとしてマイクロ波システムの取りまとめまで実施いたします。

応用例としては、貨物検査、非破壊検査、工業用 X 線用途、滅菌などの工業分野に限らず、様々な加速器への展開そして放射線治療などに重要な役割を果たしています。私たちの生産/出荷の 95%以上はヨーロッパ、アジア、北米を中心とした 33 カ国のお客様向けに輸出されています。

ScandiNova Systems AB は、Scanditronix(スカンジトロニクス社/スウェーデン)が前身にあり、ここで加速器システムのノウハウを積んだ優秀な人材により、2001 年に ScandiNova Systems AB が設立されました。スウェーデンのウプサラに本社を置き、現在の従業員数は 65 名を擁しています。